

# 平成30年 第1回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成30年1月23日(火)  
午後3時00分～午後4時13分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員
- |         |         |
|---------|---------|
| 教 育 長   | 吉 原 孝   |
| 教育長職務代理 | 山 崎 裕 行 |
| 委 員     | 田 中 保 和 |
| 委 員     | 近 藤 温 子 |
| 委 員     | 西 村 弥生子 |
4. 出席した職員
- |             |         |
|-------------|---------|
| 教 育 部 長     | 尾 野 晋 一 |
| 教 育 監       | 三 浦 正   |
| 次長兼教育総務課長   | 福 島 潔   |
| 次長兼スポーツ推進課長 | 石 垣 好 啓 |
| 次長兼学務課長     | 松 田 成 史 |
| 社会教育課長      | 礪 部 賢 二 |
| 文化財課長       | 一 松 孝 博 |
| 公民館参事       | 富 宅 公 浩 |
| 図書館長        | 山 角 清 治 |
| 指導課長        | 野 間 浩 一 |
| 健康福祉部長      | 石 橋 敬 三 |
| 事務局教育総務課    | 寺 川 款   |
| 事務局教育総務課    | 井 上 敦   |

5. 議事案件

議案第1号 柏原市学校教育基本目標ならびに重点目標の一部改正について

6. 報告事項 他

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

吉原教育長： 只今より、平成30年 第1回定例教育委員会会議を開催いたします。それでは、本日の会議録署名については、近藤委員、よろしく願いいたします。次に、平成29年 第12回定例教育委員会会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録につきまして、何かご意見はございますか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは第12回定例教育委員会会議の会議録は承認することといたします。それでは議事に入ります。本日の議事案件は1件ございます。議案第1号について事務局から説明をお願いします。

野間課長： 議案第1号柏原市学校教育基本目標ならびに重点目標の一部改正について指導課よりご説明申し上げます。平成30年度の学校基本目標ならびに重点目標の改正でございます。改正につきましては、主に3つの点で変更しております。1点目は「はじめに」の部分、2点目は英語教育、3点目は幼稚園教育についてでございます。まず、2ページの「はじめに」をご覧ください。朱筆の変更点でございますが、社会全体で学校教育に取り組む点やICT教育の点を変更修正しております。2点目は、重点事項11ページをご覧ください。英語教育の追加変更でございます。小学校の教員が英語の授業ができるよう教育委員会も支援していく点です。

3点目、幼稚園教育です。18ページご覧ください。幼稚園教育を追加修正いたしました。幼児期まで育ててほしい姿など新しい幼稚園教育要領に明記されているものの追加や、認定こども園との連携について明記いたしました。以上簡単ではございますが、ご審議よろしく願いいたします。

吉原教育長： 資料のボリュームはかなりありますが、昨年議論をして相当修正しています。小学校の英語と、幼児教育といった部分が大きく加筆修正されていますが、この議案についてご質問はありますか。

田中委員： LDやADHDの記載が新旧対照表と異なりますが、どちらが正しいのでしょうか。

野間課長： 新旧対照表が正しいです。修正いたします。

山崎委員： その上ですが、「障がいのある幼児・児童・生徒に対して…」とあるんですが、「対して」というのはふさわしくないですね。「児童・生徒について」が適当ではないですか。

吉原教育長： 確かにそうですね。対峙している訳ではないですから。

田中委員： 10ページの33番の中で、「相談できるような相談体制…」という記載があり、2度相談という記載をするのは違和感があります。

野間課長： 修正いたします。

田中委員： 11ページの36番で、外国語活動の記載はあるのですが、小学校における英語教育の教科化についての記載がされていません。必要だと思います。

野間課長： はい。加筆いたします。

田中委員： 全体的なお話ですが、句読点の打ち方で違和感を覚える部分が散見されます。

吉原教育長： 句読点については、担当者が複数いてバラバラになっている部分もあるかと思うので、ひとつの視点でもう一度確認した方がいいと思います。

山崎委員： 18ページですが、重点目標が三つの項目を立てて記載していただいて、去年にくらべると非常に分かりやすくなったなと思います。それから、具体施策の中の4番5番に保幼合同研修、認定こども園との連携についての記載もあって、こちらも良くなっていると思います。お聞きしたいのですが、具体施策の1番に記載の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」というのはどこかに書いてあるのですか。

野間課長： 新しい幼稚園教育要領に記載がございます。

山崎委員： 教員向けだから改めて記載しなくても先生方は分かるということですね。

野間課長： はい。

山崎委員： 15ページの2. 学校園の11番ですが、「各校」という記載は全て「各学校」という記載にしましょうというお話だったかと思います。

野間課長： はい。

山崎委員： 7ページの教育課程の編成のうち、7番の「理解の共有をはかり」というのは、分かったような、分からないような記載だと思います。「理解し、共有をはかり」といった記載の方が分かりやすいと思います。また、野間課長がおっしゃったように「はじめに」のところに変更点が多いですね。その中で、社会に開かれた教育課程を実施していくということなのであれば、どうしてそれが重点事項に入っていないのかなと思いました。あと、去年あたりから学力、体力、いじめについて入れてくださっているの、これは先生方にも分かりやすくしていいなと思いました。

野間課長： 新しい学習指導要領にも記載がありますのでそのようにいたします。

西村委員： 10ページの33番ですが、「幼児・児童・生徒が安心して…」とありますが、ここに保護者も入れていただけたらと思います。

吉原教育長： 確かにそうですね。

山崎委員： 6ページの学力向上方策ですが、平成28年度から3年を目途に取組みを進めているとありますが、30年度は最終年度なのですね。しっかりやって行かないといけないなと思います。一番下の方の重点取組みの取組⑤学びの時間の保障(個に応じた指導の充実)というのは具体的にはどういったことを想定されているのですか。また、取組⑦家庭との連携・協力による子どもの家庭学習習慣の定着について、この2年間で良くなっているかどうか教えていただきたい。

野間課長： 家庭学習の定着は着実に進んでいると思います。ある中学校では家庭学習の手引きにおいて、保護者の意見を必ずいただくという取り組みをしています。学びの時間についてですが、スタディーアフタースクールや放課後補習等ご意見頂戴して取り組んでおります。

山崎委員： 取組⑤はスタディーアフタースクールのことなのですか。個に応じた指導の充実というのは習熟度別の指導のことではないのですか。

野間課長： いずれも含みます。

山崎委員： そうすると取組⑤については課題がはっきりしているのですよね。

野間課長： スタディーアフタースクールも習熟度別授業も課題はございます。

山崎委員： であるならば、4月にはしっかりした形で学校を指導してほしいと思います。

野間課長： 3年目途ということですので、方向性を示したいと思います。

山崎委員： 「こんなのできました」といって学校に渡すだけでなく、重点取組みというからには「最終年ですよ」「こういう課題がありますよ」という話を是非してください。

野間課長： はい。

西村委員： 同じ6ページですが、重点目標なのか重点取組なのかどちらでしょうか。同じことを指していると思うのですが。

吉原教育長： 本当ですね。分かりやすいように「4つの取組を重点に掲げ」としましょう。

山崎委員： 2ページよろしいでしょうか。あくまでも私の思いですのでおかしかったらおっしゃってください。まず上から5行目「雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも…」とあるのですが、「雇用の在り方」と「学校において獲得する知識の意味」は「や」でつなぐ内容ではないですね。釣り合わないです。「雇用の在り方」は削除してしまっていると思います。二つ目ですが、その下で「知識の概念的な理解を実現し」とありますが、どうしてこんな難しい言い方をするのでしょうか。この部分も取ってしまっていると思います。三つ目はその下の「このことは、」から始まる分ですがとても長い文章で、分かりにくいので二つに文を分けましょう。また、「実現を委ねる」とありますが、そういう言い方はしないと思います。「実現を図る」が適切ではないでしょうか。それからその下「今後、学校教育は」の文ですが、「社会に開かれた教育課程のもとで行い」とありますが、教育課程のもとでという言い方はしないですね。「教育課程を編成し」と繋がっていくと思います。その上の「家庭や地域との連携・協働を重視し」とありますが、重視するというより「協働を大切にし」ぐらいでいいのではないかなと思いました。その下ですが、「教育委員会は取組を進めます。」となっていて、これは去年教育委員会が何をするのかははっきりしましょうという話を汲み取って入れていただいたと思うのですが、教育委員会と学校がそれぞれの役割と責任の下に取組を進めます。としたらどうでしょうか。3ページに行きまして、2行目の「中でも」とありますがいらないと思います。以上が私の意見ですので検討して頂けたらと思います。

田中委員： 文章が長いので読みにくいところと、文章の切り方が短いところがあって読みにくい部分がありますね。

吉原教育長： 今の意見で、指導課としては何か主張はありますか。

野間課長： 仰られるように思いますので修正いたします。

吉原教育長： これはいつまでに仕上げないといけないのですか。

野間課長： 3月です。

吉原教育長： 例年いつ配付していますか。

野間課長： 3月末です。

山崎委員： 目標設定をしなければならぬので、学校で会議をする前には配付しないと。

田中委員： 全教職員に配付しますか。

野間課長： はい。

尾野部長： 2月の教育委員会会議で今回のお話を踏まえて全体をもう一度見直しましょうか。

山崎委員： 全編通しておかしいところを修正してください。

野間課長： はい。

吉原教育長： もう一度見ていただくチャンスがありますから、次回会議の事前を送付させていただくということで、議案第1号は継続審議としてよろしいでしょうか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは、議案第1号柏原学校教育基本目標ならびに重点目標の一部改正については継続審議といたします。本日の議事案件は以上です。続いて、報告事項に移ります。事務局の方で報告すべき事項はありますか。

福島次長： 【学校施設管理について報告】

吉原教育長： 何か質問はございますか。無いようですので次の案件をお願いします。

礒部課長： 【成人式について報告】

吉原教育長： 何か質問はございますか。無いようですので次の案件をお願いします。

スポーツ推進課： 【シティキャンパスマラソンの申込み状況、石川河川敷広場の台風被害復旧状況について報告】

吉原教育長： 何か質問はございますか。無いようですので次の案件をお願いします。

松田次長： 【スクールバス条例施行規則、堅上特認校推進委員会について報告】

吉原教育長： 他にご意見ございますでしょうか。

委員全員： (意見等なし)

吉原教育長： 各課からの報告は以上です。平成30年第2回定例教育委員会会議につきましては、平成30年2月7日(水)午後3時30分としていましたが、当初の予定が無くなりましたので午後3時とさせていただきますよろしいでしょうか。

委員全員： (了承)

吉原教育長： 3月について、平成30年3月23日(金)午後3時はいかがでしょう。

委員全員： (了承)

吉原教育長： 4月について、平成30年4月6日(金)午後3時はいかがでしょう。

委員全員： (了承)

以上をもちまして、平成30年第1回定例教育委員会会議を閉会します。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成30年1月23日

柏原市教育委員